



銀細工の小箱 ボンボニエール

- 会場 1階松平家史料展示室
- 会期 平成20年5月9日(金)～7月6日(日)
- 休館日 6月16日(月)

「ボンボニエール」、それは皇族や旧華族家の慶事に伴い行われた食事会で、出席者への記念品として配られた銀製のお菓子入れです。中には金平糖や干菓子などを入れます。明治時代に始まったとされるこの慣習は、それぞれの慶事の内容により趣向を凝らし、出席者の数だけ作られるという独自の銀細工の世界を生み出しました。

春嶽公記念文庫に数々のボンボニエールが現存するのは、松平春嶽の嫡男慶民が長年宮内省に勤めていたためです。今回の展示ではそれらを一堂にご紹介いたします。手のひらに収まる大きさの銀の小箱から、近代より続く銀工芸の一面と、そこに表現された慶びの心を感じていただければと思います。

松平慶民と宮内省

松平慶民(第十六代福井藩主松平春嶽の嫡男)は、大正元年(1912年)、31歳で宮内省の侍従に任命されたのを初めとして、宮中儀礼を担当する式部官、皇族や華族に関する事務を行う宗秩寮の宗親課長、皇太子に仕える東宮職御用掛・宮内大臣などを歴任、戦後には宮内府長官も務め、長年に渡り宮内省に勤務しました。学生時代にオックスフォード大学で学んだことから、皇族の外遊や留学への同行、海外からの来賓の通訳などでも活躍しています。春嶽公記念文庫に現存する大正天皇や皇族らからの様々な下賜品は、慶民の尽力の様子を示しています。ボンボニエール約100点も数十年かけてもたらされたもので、それらの多くには、山緒を書いた慶民自筆の書付が入れられており、いかに大切に保存されていたかがうかがえます。



「松平慶民肖像写真」

ボンボニエール(大正～昭和初期)

ボンボニエールという名称や人に贈る慣習は、外国からの影響で始まったと考えられていますが、詳しいことはわかっていません。明治27年(1894年)に、明治天皇の銀婚式の引き出物として作られたボンボニエールが現存しているため、この頃までには皇室に取り入れられていたようです。

春嶽公記念文庫のボンボニエールは慶民が宮内省勤務時代に賜ったもののため、大正時代から昭和初期までの作品に限定されます。大正時代のボンボニエールは明治期に比べて自由な意匠のものが多く作られているとされ、装飾がシンプルな四角い箱形から、とても緻密で本物そっくりのミニチュア形まであり、職人の技がいかに発揮されています。また、太平洋戦争中には、銀ではなく木製や陶磁器製のシンプルなボンボニエールが作られており、物資が乏しかった時代を物語っています。



ボンボニエール(左から印籠形、亀甲模様卵形、梅模様八稜鏡形)



ボンボニエール(左から木製紋入八角箱形、唐草模様木製香合形、瀬戸製鶴香合形)

展示資料一覽

No.	名 称	下 賜 年 月 日	由 緒
1	栞模様箱形ボンボニエール	大正4年(1915)11月	大正天皇御大典記念
2	七宝梅竹模様箱形ボンボニエール	大正7年9月10日	東伏見邸で御渡英随員一行の晩餐
3	瓢箪形ボンボニエール	大正8年1月13日	東伏見宮依仁親王御渡英の随員一同の午餐
4	兜形ボンボニエール	大正8年7月16日	和蘭公使陪食の際松平慶民が通訳
5	手提火鉢形ボンボニエール	大正9年5月13日	浜離宮でワンダーリーグ一行の晩餐
6	耳付花瓶形ボンボニエール	大正9年11月16日	三井高公と松平銀子(松平康莊長女)結婚記念
7	丸鳥籠形ボンボニエール	大正10年10月4日	浜離宮で外国賓客午餐
8	重ね文庫形ボンボニエール	大正11年4月13日	東伏見宮邸で摂政宮(のちの昭和天皇)、英皇太子等晩餐
9	銀製蹄鉄ハミ桜花形置物	大正11年	英皇太子プリンス・オブ・ウエールズ公来朝記念
10	花瓶形ボンボニエール	大正12年4月4日	東伏見宮邸で英皇太子一行の晩餐
11	印籠形ボンボニエール	大正12年4月12日	英皇太子の宮中晩餐で慶民が通訳
12	流水模様文庫形ボンボニエール	大正12年4月15日	徳川公邸で英皇太子の午餐
13	紋章付楯門形ボンボニエール	大正12年4月17日	赤坂離宮で英皇太子主催の晩餐
14	老梅木模様重文庫形ボンボニエール	大正13年5月	久邇宮邸邦久王臣籍降下の記念品
15	亀甲模様卵形ボンボニエール	大正13年6月6日	東宮同妃御慶事慰勞の為
16	梅香模様文庫形ボンボニエール	大正14年1月19日	高松宮御成年式の午餐
17	丸香合形ボンボニエール	大正14年1月20日	高松宮御成年式の晩餐
18	透彫入冑形ボンボニエール	大正14年4月	山階宮藤磨王御成年の節
19	桐花模様八稜鏡形ボンボニエール	大正14年5月1日	東伏見宮妃及び秩父宮御留学御送別晩餐
20	スカリングボート形ボンボニエール	昭和3年(1928)9月6日	久邇邦久侯と松浦薫子婚儀記念
21	紋入箱形ボンボニエール	昭和3年10月13日	秩父宮雍仁親王御成婚記念午餐
22	挿花形銀細工	昭和3年11月16日	大嘗祭後大餐第1日
23	燈籠形ボンボニエール	昭和3年11月17日	大嘗祭後大餐夜宴
24	雅楽大太鼓形ボンボニエール	昭和3年11月17日	大嘗祭後大餐第2日
25	威儀鉢形ボンボニエール	昭和3年12月11日	大札後宮中餐宴
26	唐草模様文庫形ボンボニエール	昭和4年5月3日	英王族グロスター公の宮中晩餐
27	国旗模様文庫形ボンボニエール	昭和4年5月7日	英王族グロスター公・田中義一首相等陪食
28	巻軸形ボンボニエール	昭和4年10月6日	孝宮和子内親王命名の内宴
29	梅花箱形ボンボニエール	昭和4年12月6日	照宮成子内親王御着袴の内宴
30	鳩と地球儀形ボンボニエール	昭和5年2月17日	東御所で皇太后御主催の高松宮御慶事の内宴
31	松林涛箱形ボンボニエール	昭和5年2月18日	赤坂離宮で御婚儀披露第1日
32	ギリシャ語本重ね形ボンボニエール	昭和5年5月	久邇宮邦英王御成年式
33	手鏡形ボンボニエール	昭和5年6月10日	大宮御所で皇太后御影所に舞楽奉納の陪覧
34	鍋形ボンボニエール	昭和5年10月	李健公の任官披露午餐
35	千鳥模様文庫形ボンボニエール	昭和6年3月3日	昭和天皇東宮御所時代の御外遊十周年記念午餐
36	硯箱形ボンボニエール	昭和6年3月13日	純宮厚子内親王御命名の内宴
37	鶴松模様六角形ボンボニエール	昭和6年5月12日	朝香宮紀久子女王鍋島家へ御降下
38	半地球儀形ボンボニエール	昭和6年10月5日	李健公結婚
39	砲弾形ボンボニエール	昭和6年10月26日	北白川宮永久王陸軍砲兵少尉に御任官
40	紋付文庫形ボンボニエール	昭和7年1月4日	李王世子命名の祝宴
41	鶴首舟形ボンボニエール	昭和7年3月3日	国際連盟調査委員(リットン調査団)陪食
42	折紙兜形ボンボニエール	昭和7年3月14日	澄宮崇仁親王士官学校御入学に付晩餐
43	箱鳥籠形ボンボニエール	昭和7年10月19日	満州国特使謝介石の御陪食
44	銀製扇形文鎮	昭和7年11月16日	徳川宗家第16代家達・泰子結婚50年記念
45	三脚円匱形ボンボニエール	昭和7年12月	李鏞公成年ノ節
46	唐櫃形ボンボニエール	昭和8年5月5日	英王族グロスター公三井家晩餐
47	犬張子形ボンボニエール	昭和9年2月23日	継宮明仁親王御降誕御祝宴第1日夜
48	鳥居松模様箱形ボンボニエール	昭和9年4月5日	皇太子賢所初御参拝の内宴
49	檜扇形ボンボニエール	昭和9年5月30日	竹田宮恒徳王御結婚披露宴
50	牛車形ボンボニエール	昭和9年6月1日	ベルギー特派大使一行御陪食

・全て福井市春嶽記念文庫の所蔵です。

・下賜年月日及び由緒は松平慶民筆書付による。

但し、※は他の研究資料を参考に推定し、不明のものは空欄としました。

・資料番号は展示順ではありません。

・都合により展示作品が変更になることがあります。

No.	名 称	下賜年月日	由 緒
51	紋入八角箱形ボンボニエール	昭和9年10月19日	万国赤十字第15回会議午餐
52	銀製桃実形小皿	昭和9年12月15日	北白川宮佐和子女王東園基文へ御降嫁の午餐
53	純銀製扇子形楊子入	昭和9年12月21日	大宮御所晩餐
54	純銀製飾スプーン	昭和10年1月7日	北白川宮佐和子女王東園基文に御降嫁
55	竹模様扇形ボンボニエール	昭和10年1月7日	北白川宮佐和子女王御降下の晩餐
56	龍頭蓋香炉形ボンボニエール	昭和10年4月9日	赤坂離宮に於ける満州国皇帝御召
57	梅模様八稜鏡形ボンボニエール	昭和10年4月26日	北白川宮永久王御慶事記念品
58	若杉鳥居模様箱形ボンボニエール	昭和10年12月3日	三笠宮崇仁親王御成年式に付午餐
59	若杉鳥居模様箱形ボンボニエール	昭和10年12月4日	三笠宮御成年式
60	でんでん太鼓形ボンボニエール	昭和10年12月5日	常陸宮正仁親王御誕生の内宴
61	紋入文庫形ボンボニエール	昭和10年12月17日	三笠宮崇仁親王御成年式の祝宴
62	水雷形ボンボニエール	昭和10年	朝香宮正彦王御成年式
63	老松模様文庫形ボンボニエール	昭和11年5月6日	東久邇宮盛厚王御成年の晩餐
64	紋入銀製文鎮	昭和12年5月6日	皇太子東宮仮御所へ御移転
65	紋入木製香合形ボンボニエール	昭和16年10月31日	朝香宮湛子女王御降下の午餐
66	紋入香合形ボンボニエール	昭和17年4月	賀陽宮大妃御罷薨儀の節
67	紋入銀盃	昭和17年	賀陽宮恒憲王第一男子御成年式
68	紋入漆塗香合形ボンボニエール	昭和18年10月6日	北白川宮永久王御戦死3年祭
69	唐草模様木製香合形ボンボニエール	昭和18年10月6日	照宮成子内親王御結婚の陪食
70	漆塗松梅模様文庫形小箱	昭和18年10月13日	東久邇盛厚王、成子内親王御慶事
71	瀬戸製鶴香合形ボンボニエール	昭和19年6月22日	三笠宮邸にて召甞子内親王御誕生
72	紋入二段重箱形ボンボニエール	明治43年(1910)	※朝香宮鳩彦王御慶事
73	蓋付籠形ボンボニエール	大正4年	※大礼祭大饗
74	梅鉢形鳳凰模様ボンボニエール	大正5年11月29日	※裕仁親王立太子
75	木製台付漆塗六角重箱	大正13年5月31日	※皇太子御婚礼
76	鳳凰模様円波形ボンボニエール	大正14年5月10日	※大正天皇大婚25年御祝典
77	鶴形ボンボニエール	大正14年6月30日	※大正天皇大婚25年御祝典
78	打出の小槌形ボンボニエール	大正14年9月16日	※英王族ジョージ公と午餐
79	鼓形ボンボニエール	昭和3年	※秩父宮御婚儀前御内宴
80	脚付文庫形ボンボニエール	昭和3年4月28日	
81	紋付丸重形ボンボニエール		島津忠承・三條泰子結婚記念品
82	蓋付草花模様円形ボンボニエール		
83	六角唐櫃形ボンボニエール		
84	手提文庫形ボンボニエール		
85	台付太鼓形ボンボニエール		
86	松竹梅模様扇面形小皿		
87	紋章入楕円形ボンボニエール		
88	純銀製飾スプーン		
89	半開扇子形ボンボニエール		
90	翁能面付属亀甲文様箱形ボンボニエール		
91	象牙鴛玩具付属鳳凰模様丸形ボンボニエール		
92	銀製恵比寿模様酒盃		
93	松竹梅模様二段重箱形ボンボニエール		
94	銀製紋章入桜花形小皿		
95	七宝紋入円形ボンボニエール		
96	銀製紋入花盛器	大正13年5月3日	皇太子御婚礼
97	銀製菓子器及び菓子皿	昭和7年6月	宮内事務官として宗秩寮宗親課長を免ぜられた際
98	銀製紋入一輪挿	明治43年	富美宮御慶事
99	銀製紋入花瓶	大正13年1月26日	裕仁親王、久邇宮良子女王御慶事
100	銀製紋入唐草文様花瓶	大正11年7月6日	英国皇太子エドワード御来朝接待員務めに付

銀製品

春嶽公記念文庫には、ボンボニエールの他にも、記念品として賜った洋風の銀製品がいくつか伝わっています。

それらは、明治期に入って西洋風の生活様式が宮中に取り入れられる中で使われていったと考えられます。銀製品は、時計や装飾品を輸出入していた百貨店や商店が金工職人に作らせていました。ボンボニエールも含めて銀製品の多くには、受注した店の名前や「純銀」という品質を保証する刻印が刻まれています。展示作品には「宮本造」「三越」「鈴木製」「小林時計店美術部」「SAMURAI SHOKAI」などの刻印が見られます。



銀製紋入花盛器

様々な意匠

宮中での食事は、慶事の祝いや外国賓客をもてなすためなど、様々な目的で開催されます。それぞれに下賜されたボンボニエールを見ると、その会の趣旨が一目で分かるような意匠の作品が多く見られます。例えば、新宮の御誕生にいみやの際にはでんでん太鼓形のボンボニエール、御婚礼には扇形や鶴など吉祥模様、外国賓客へは日本らしく兜形のものなど、大変趣向が凝らされています。そして多くには家紋が施されており、展示作品にも天皇家の御紋章はもちろん、東伏見宮家や高松宮家などいくつかの宮家や華族家の御紋も見られます。

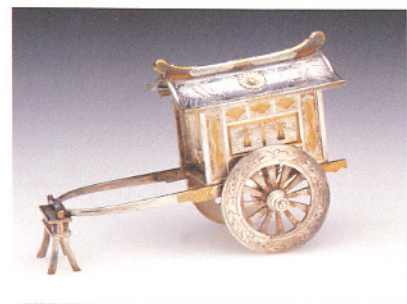
また、ボンボニエールは特注品で、行事のたびに招待客の人数分が注文され、数十個から多いものでは数千個が作られます。日本の金工技術が詰まった作品が数量限定で次々と作られていった点で、工芸の分野においてもボンボニエールは貴重な存在といえるでしょう。



でんでん太鼓形ボンボニエール



箱鳥籠形、丸鳥籠形ボンボニエール



牛車形ボンボニエール

見どころ講座

「旧華族家慶事の記念品 ボンボニエール」

日時：5月17日(土)午後2時～

場所：講堂2階

担当：高瀬裕美（当館学芸員）

次回の展示

特別陳列

「橋本左内と弟綱常」

日時：7月9日(水)～9月7日(日)

展示解説シート No.33 平成20年5月9日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3-12-1

TEL (0776) 21-0489 FAX (0776) 21-1489

担当：高瀬裕美

制作：足羽印刷株式会社